

令和3年度 施策評価シート

| | | |
|-------|--|---------------------------------|
| 基本目標 | I | 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる |
| 政策 | 120 | すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる |
| 施策 | 123 | 訪れる人をやさしく迎える、おもてなしのまちをつくる |
| 施策の目標 | 来街者をやさしく迎えることで、誰もが安全に、安心して区内回遊を楽しめる「おもてなし」のまちとなるとともに、区民と来街者のさまざまな交流が生まれる「国際観光都市」となっています。 | |

1 基本計画における成果指標の状況

| 指標名 | 外国人観光客の墨田区に対する来訪満足度 | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|-----|-----|----|-------|----|----|----|----|-------|
| | 基準年 (H28) | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 目標 | 80.3% | | | | 83.0% | | | | | 85.0% |
| 実績 | | | | | | | | | | |

| 指標名 | まち歩きガイドツアー参加者数 | | | | | | | | | |
|-----|----------------|-----|-----|----|-------|----|----|----|----|-------|
| | 基準年 (H28) | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 目標 | 4,374 | | | | 4,600 | | | | | 4,800 |
| 実績 | | | | | | | | | | |

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

| 指標の推移・施策の課題や問題点について記述 | 総事業費推移 (千円) | |
|---|-------------|--------|
| 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、区独自ボランティアの活動機会がなかった。 令和3年度は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が安全・安心に開催されるよう、国、東京都、組織委員会と協力して取組を進めるとともに、おもてなしの担い手である区独自ボランティアのボランティアマインドが醸成され、大会後のレガシーとなるよう推進していく必要がある。 | H30 | 18,451 |
| | R1 | 45,240 |
| | R2 | 6,919 |

3 施策の評価及び判断理由

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| D | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、共生社会の実現及び来訪者へのおもてなし活動の充実等を目的に募った区独自ボランティアを指標としたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動ができなかった。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、より安全・安心な取組となるよう見直す必要があることから、「D:目標に対する達成度が低く、見直し・改善が必要である。」と判断した。 |

4 今後の施策の運営方針

| 評価結果 | 施策の戦略的方向性 |
|--|-------------------------|
| ○ | (1) 優先的に資源投入を図る。 |
| | (2) 現状維持とする。 |
| | (3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。 |
| | (4) 資源投入の縮小を図る。 |
| 【上記の判断理由】 | |
| 今年度開催される東京2020大会を安全・安心な大会とするため、より効果的・効率的な事業運営を図る必要がある。 | |
| 【今後の具体的な方針】 | |
| 東京2020大会を通じ、共生社会の実現やボクシング競技を始めとしたスポーツを通じた健康づくりなど、次世代へのレガシーとして継承していく。 | |

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

| 番号 | 事務事業名 | 歳出 決算額 (千円) | 人コスト (千円) | 歳出 総額 (千円) | 目的に対する指標 | |
|----|-------------------------|-------------------|--------------|------------------|----------|---------|
| | | | | | 年度目標値 | 直近の評価内容 |
| | | | | | 年度実績値 | 評価結果 |
| | | | | | | 評価対象年度 |
| 1 | オリンピック・パラリンピック 総合調整費 | 6,919 | 88 | 7,007 | 350 | 現状維持 |
| | | | | | — | 令和2年度 |
| 2 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 7 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 8 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 9 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 10 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 11 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 12 | | | | | | |
| | | | | | | |

令和3年度 事務事業評価シート

| | | | | | |
|--|---|---------------------------|--------|-----------------|-------------------------------|
| 施 策 | 123 | 訪れる人をやさしく迎える、おもてなしのまちをつくる | 部内優先順位 | | |
| 事 業 名 | オリンピック・パラリンピック総合調整費 | | | 1 | |
| 目 的 | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて区民等の気運醸成を図るとともに、競技大会終了後もレガシーとして持続可能な取組を各課と連携して展開する。 | | | 主管課・係(担当) | |
| | | | | オリンピック・パラリンピック室 | |
| 対 象 者 | 区内に住む子どもから大人までの多くの区民 国内外からの来訪者 | | | | |
| 根 拠 法 令 | なし | | | | |
| 関 連 計 画 | なし | | | | |
| 実 施 基 準 | 区独自基準 | 実施方法 | 一部委託 | 人員体制・委託先 | 常勤7人、組織委員会派遣(常勤)8人、会計年度任用職員1人 |
| | 事業内容 | | | | |
| (1)気運醸成 ア ボクシングキャラクター活用事業 イ 競技体験事業等 (2)聖火リレーの運営 (3)競技観戦イベントの運営 (4)墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会の運営 (5)ボランティアの運営 | | | | | |
| 経 過 | 開始年度 | 平成29年度 | 終了予定 | 令和3年度 | |
| | 平成29年 3月 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた墨田区の取組方針」策定 5月 オリンピック・パラリンピック推進本部の設置 9月 墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会の設立 平成30年 11月 東京2020オリンピック ボクシング競技実施に向けた決起大会開催(共催:(一般)日本ボクシング連盟) 令和元年 6月 東京2020オリンピック ボクシング競技実施決定に伴う決起大会開催(共催:(一般)日本ボクシング連盟) 8月 東京2020Let's55 with すみだの実施(パラリンピック1年前節目イベント) 12月 オリンピック聖火リレールート公表 一般社団法人日本ボクシング連盟と東京2020大会を契機としたボクシングを通じた取組の連携協力に関する協定を締結 令和2年 3月 新型コロナウイルス感染症の影響により東京2020大会の開催が約1年延期することが決定 令和3年 7月～9月 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催予定 | | | | |
| 議 会 質 問 の 状 況 | [平成29年2定] ・東京2020大会を見据えた「おもてなし」について ・マラソン誘致について [平成29年3定] ・庁内の情報共有及び連携体制について [平成29年4定] ・地域協議会の機動的に機能するためについて ・聖火リレーの要望について ・基本計画に掲げた”夢”実現プロジェクトの施策展開について [平成30年1定] ・英語を話せるボランティア育成について ・オリンピック・ボクシング競技の除外報道について [平成30年2定] ・小中学生の大会体験の機会について ・区内事業者による「あしたのジョー」関連商品の販売について ・東京2020応援プログラムについて ・チケットの区民優先枠の検討について ・パブリックビューイングについて [平成30年3定] ・サマータイム問題と東京2020大会の開催時期について ・日本ボクシング連盟の報道による影響について [平成30年4定] ・オリンピックレガシーについて [平成31年1定] ・練習会場に係る費用負担等について ・IOCにおける競技実施の結論について [平成31年予特] ・聖火リレーの際の本区のPRについて [令和元年2定] ・ラグビーワールドカップについて [令和元年決特] ・東京2020大会における区民の出番について ・東京2020大会への子どもたちの参加について ・東京2020大会が墨田区の人たちの思い出として残す方策について [令和2年予特] ・節目イベントについて ・聖火リレーコースの沿道の盛り上げやレガシーについて ・聖火リレーのサポートランナーについて ・パブリックビューイングの実施について ・区にゆかりのある選手の応援及び暑さ対策について [令和2年1定] ・中止や延期の可能性を見据えた検討状況について [令和2年2定] ・気運醸成イベントの実施について ・組織委員会へ派遣されている職員の状況について [令和2年3定] ・感染症への対応状況について [令和3年予特] ・墨田区独自ボランティアの登録状況について ・ホストタウンとの交流について ・身体障害者以外も関わられる施策について ・両国駅前喫煙所について ・聖火リレー及び特殊区間について [令和3年1定] ・区ゆかりの選手の応援について ・海外選手の応援について ・子どもの競技観戦プログラムについて | | | | |
| そ の 他 特 記 事 項 | (他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、安全・安心に実施できるよう、組織委員会、東京都、庁内関連部署等との調整を図る。 ・大会後のレガシーを見据えた取組を実施していく。 | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|-----|-------|-------|--------|--------|-------|---------|
| 予算・決算額推移（千円） | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 予算現額（事業費） | | 1,683 | 8,064 | 20,826 | 51,414 | 8,665 | 111,210 |
| A.決算額（令和3年度は見込み） | | 1,380 | 7,099 | 18,451 | 45,240 | 6,919 | 111,210 |
| 財源 | 国 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 都 | 221 | 2,063 | 4,986 | 12,628 | 5,173 | 39,980 |
| | その他 | 0 | 0 | | 2,000 | 1,273 | |
| 一般財源 | | 1,159 | 5,036 | 13,465 | 30,612 | 473 | 71,230 |
| 執行率（%） | | 82.0% | 88.0% | 88.6% | 88.0% | 79.8% | 100.0% |
| B.人コスト | | | | | | 88 | |
| 総事業決算額（A+B） | | 1,380 | 7,099 | 18,451 | 45,240 | 7,007 | |

主な事業費用の説明

※令和3年度から指標事業を変更しているため、B.人コストについては、令和2年度分のみを記載している。

| | | | | | | | | |
|--|--|-------|------------------|----------|----------|-----|-----|-----|
| 予算書P（令和3年度） | 127 | | 執行実績報告書P（令和2年度） | 61 | | | | |
| 事業の成果 | 手段に 対する指標 (活動指標) | 指標 | 墨田区独自ボランティアの登録者数 | | | | 単位 | 人 |
| | | 最終目標値 | 目標年度 | | 基準年(H28) | H29 | H30 | R1 |
| | | 200人 | 令和3年度 | 目標 | | | | 200 |
| | | | | 実績 | | | | 202 |
| | | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| | | 目標 | 200 | 200 | | | | |
| | | 実績 | 184 | 184 | | | | |
| | 指標の選定理由及び目標値の理由 | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度まで指標としていた事業は東京都との共催で実施していたが、東京都の事業終了に伴い、本区においても事業を廃止したことから、令和3年度から変更した。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、共生社会の実現及び来訪者へのおもてなし活動の充実等を目的に募った区独自ボランティアを指標とした。なお、令和2年度に登録者数が減少しているのは、東京2020大会の延期に伴い継続が困難になった方である。 | | | | | | | |
| | 目的に 対する指標 (成果指標) | 指標 | 墨田区独自ボランティアの活動人数 | | | | 単位 | 人 |
| 最終目標値 | | 目標年度 | | 基準年(H28) | H29 | H30 | R1 | |
| 685日 | | 令和3年度 | 目標 | | | | 260 | |
| | | | 実績 | | | | 264 | |
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| | 目標 | 685 | 685 | | | | | |
| | 実績 | — | | | | | | |
| 指標の選定理由及び目標値の理由 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度まで指標としていた事業は東京都との共催で実施していたが、東京都の事業終了に伴い、本区においても事業を廃止したことから、令和3年度から指標を変更した。 おもてなし活動の充実やボランティアマインドをレガシーとするためには多くの活動に参加してもらうことが望ましい。そのためには区として活動機会をより多く提供することが必要であることから、区独自ボランティアの活動日数を指標に選定した。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動することができなかったため、随時、オリパラ関連情報の提供を行った。 | | | | | | | | |

| | |
|------|--|
| 評価結果 | 評価についての説明・今後の方向性等 |
| 現状維持 | 東京2020大会に向けて、また、その後のレガシーを見据えた活動をしていく必要がある。 |

| |
|--|
| 課題・問題点 |
| <ul style="list-style-type: none"> 大会の延期に伴い、活動内容や配置計画等を見直す必要がある。 安全・安心にボランティア活動ができるよう感染症対策等の支援を行う必要がある。 レガシーとすべく、ボランティアマインドを醸成し、大会後も活動できる機会の提供等を行うことで、地域活性化につなげていく。 |